

きぬ聖苑 AHU-2エアハンドリングユニット更新工事

筑西広域市町村圏事務組合

図面リスト			
No.	図面名	No.	図面名
M-1	仕様書（特記事項記載）	M-11	自動制御設備図
M-2	既設機器表（更新箇所記載）	M-12	自動制御平面図
M-3	既設系統図（更新箇所記載）	M-13	空調機械室 撤去図
M-4	空調機械室 既設平面図	M-14	既設撤去エアハンドリングユニット図
M-5	既設ダクト図	M-15	仮設通路図
M-6	更新機器表	M-16	機械室撤去図（参考）-1
M-7	更新エアハンドリングユニット仕様書	M-17	機械室撤去図（参考）-2
M-8	空調機械室 更新平面図		
M-9	ダクト改修平面図		
M-10	既存配管平面図		

きぬ聖苑AHU-2エアハンドリングユニット更新工事

仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所茨城県筑西市下川島655

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一	備考
きぬ聖苑		1階			改修

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)

建物別及び屋外工事種目	機械室他				
●空気調和設備	改修一式				
○換気設備	改修一式				
●自動制御設備	改修一式				
○衛生器具設備	改修一式				
○給水設備	改修一式				
○排水設備	改修一式				
○給湯設備	改修一式				
○蒸気設備	改修一式				
○ガス設備	改修一式				
●撤去工事	改修一式				

2. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年度版)」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和4年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年度版)」(以下、「標準図」という。)による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、電気設備工事の工事仕様は、(/) 図、建築工事の工事仕様は(/) 図による。

2. 特記仕様

章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

●電気保安技術者

●技能士の適用

●監督員事務所

●工事用電力・水・その他

●工事用仮設備

○足場・さん橋類

○建設発生土の処理

○埋め戻し土・盛土

●工事写真・完成図等

●運転操作説明板

●機材の承諾図

●総合調整

●電源周波数

○容量等の表示

○耐震措置

○配管

○絶縁フランジ

○地中埋設構等

●保温

○塗装

○はつり

○電線類

○試験

●ダクト

○風量測定口

工事現場におく電気保安技術者は、関東地方整備局制定の国土交通省関東地方整備局営繕工事事業用電気工作物保安規定第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行うものとする。

●配管施工(配管工事) ●建築板金施工(ダクト製作および取付け) ●熱絶縁施工(保温工事) ○冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付け)

●設けない ○設ける

この工事に必要な工事用電力、水などの費用は、すべて無償で使用できる。また、この工事に必要な諸手続の費用は、すべて請負者の負担とする。

構内につくることが ●できる ○できない

○別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置とする。 ○改修標準仕様書第1編2. 2. 1によるほか下記による。 ○内部仮設足場等(○種○種) ○外部仮設足場等(○種○種)

○埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。

○根切り土の中の良質土 ○山砂の類

●完成図の原因サイズは、原則としてA3サイズとする。 ○完成図のCADデータ(電子媒体CD-R)を1部提出する。

系統図、機器等の取り扱い方を機械室に設ける。

国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図(様式集令和4年度版)によるほか、監督職員の指示による。

●本工事(調整項目は下記のものとする。) ●風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の高湿度の測定 ○騒音の測定 ○別途とする。

●50Hz ○60Hz

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土地技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により行う。ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平震度KH及び設計用設計用鉛直震度KV(KH/2)を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0 (2.0) <2.0>	1.5 (2.0) <1.5>	1.5 (2.0) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>
	1.5 (1.5) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>	1.0 (1.5) <1.0>	0.6 (1.0) <0.6>
	1.0 (1.0) <1.5>	0.6 (1.0) <1.0>	0.6 (1.0) <1.0>	0.4 (0.6) <0.6>

(注)()内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < >内の数値は水槽類に適用する。

※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階) 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平屋建の場合は無し) 重要機器は次のものを示す。

○給水装置 ○排水装置 ○換気機器 ○空調機器 ○熱源機器 ○防災設備 ○監視制御設備 ○危険物貯蔵室 ○火を使用する設備 ○避難経路上に設置する機器

溶接部の非破壊検査 ○要()

取り付け箇所は図示による。

(1) 地中埋設構 ○要(図示の箇所) ○不要 (2) 埋設表示用テープ ○要(排水管を除く) ○不要

○屋外露出部(○給水管 ○消火管 ○膨張管 ○ドレン管 弁類を含む)は防凍保温を行う。仕様は標準仕様書第2編3. 1. 4及び3. 1. 5とする。厚さは配管の呼び径25以下のものは50mm、呼び径32以上のものは40mmとする。

●屋内露出(●機械室 ○)の保温外装は(●7kg/㎡ O)とする。

下記の金属電線管は塗装を行なう。 ○()の屋内露出 下記の保温を施さない亜鉛めっきを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ○倉庫 ○熱源機械室 ○空調機械室

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターを用いる。

電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編2. 4. 1表4. 2. 12による。

(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。(2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。

●低圧ダクト(コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法)とする。 ○高圧1ダクト(適用範囲は図示による。)とする。

取り付け箇所は監督員と打合せによる。

●チャンパー

●配管材料

●弁類

●温度計

●圧力計

●保温及び消音内貼り

○ダクト

○風量測定口

○ダンパー

○シール

○チャンパー

●構成その他

●電気計装工事の配線

○衛生器具付属水栓

○洗面器

○洋風便器

●配管材料

●弁類

○管の埋設深さ 建物導入部配管

○配管材料

○弁類

○給湯設備

○ガス種別

○配管材料

○充てん容器

○集合装置

○転倒防止等

○メーター

(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。(2) 空気調和機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。(3) ガラリに直接取り付けるチャンパー類は雨水の滞留のないよう施工する。

(1) 冷温水管 (2) 冷却水管 (3) 冷媒管 (4) 蒸気管 (5) 高温水管 (6) 膨張管、空気抜き管

●配管用炭素鋼鋼管 ●ステンレス鋼鋼管

●配管用炭素鋼鋼管 ●ステンレス鋼鋼管

JIS又はJV (●5K ○10K (図示部分)) 65A以上の冷温水・冷却用水弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。

取り付け箇所は監督員と打合せによる。

取り付け箇所は監督員と打合せによる。

○還りダクトの保温 範囲は(○ ○) ●外気ダクトの保温 範囲は(○外壁より1. 0m ●全て) ○膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 4の膨張管の項による。 ○建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3. 1. 4の膨張管の項による。 ○空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 5の排水管の項による。 ○冷媒管の外装の種別は(○図示による ○ステンレスラッキング)

○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法(ヒツツバグはぜ)とする。 ○高圧1ダクト(適用範囲は図示による。)

取り付け箇所は図示による。

空気調和設備の当該項目による。

排気ダクトの全系統

空気調和設備の当該項目による。

図示による。

使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4. 2. 12の使用する電線類の規格による。(機器、盤類は除く) 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

水栓栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。

手洗器は止水栓付とする。

洗浄水量が10. 5L/回以下のものとする。

(1) 給水引込管(直結部分) 水道事業者の指定による(○) (2) 地中埋設配管 ○ (3) その他の一般配管 ●水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)

JIS又はJV ○水道直結部分(○10K ○) ●その他の部分(●5K ○) ○逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。

管の上端より原則として、一般敷地は(30cm) 構内道路は(60cm) 以上とする。 標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)の○(a) ○(b) ○(c)による。

(1) 屋内 汚水管 雑排水管 通気管 ドレン管 (2) 屋外 第一樹まで 樹間

○排水用鉄管管メカニカル形(2種管) ○鉛管 ○硬質塩化ビニル管(VP) ○硬質塩化ビニル管(VP) ○耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HTVP) ○屋内配管と同一とする ○遠心力鉄筋コンクリート管

洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管(RF-VP)でもよい。

○一般配管用ステンレス鋼鋼管(SUS304)

JIS又はJV (○5K ○10K(水道直結部分)) ○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。

○液化石油ガス

○液化石油ガス (1) 一般 (2) 地中

別途(○50kg ○) × 本

標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)による 本組。

標準図(液化石油ガス容器転倒防止施工要領)の○(a) ○(b)による。

○親メーター(○貸与品 ○) 子メーター(○買い取り ○既設)

●撤去内容

●発生材の処理

●撤去工事

凡 例

記号	名称	材質	規格	備考
———	給水管(埋設部)	硬質塩化ビニルライニング鋼管(VD)	JWWA K116 (SGP-VD)	
———	給水管(その他)	硬質塩化ビニルライニング鋼管(VB)	JWWA K116 (SGP-VB)	
— —	給湯管	ステンレス鋼管		
———	高温排水管	配管用炭素鋼管(黒)	JIS G 3452	ボイラ・還水槽排水管
———	排水管	硬質塩化ビニル管(VP)	JIS G 6741 (VP)	
- - - - -	通気管	硬質塩化ビニル管(VP)	JIS G 6741 (VP)	
———	屋外汚水管	硬質塩化ビニル管(VP)	JIS G 6741 (VP)	
—G—	ガス管	ガス事業者の供給規定による		
—CH—	冷温水管(往)	配管用炭素鋼管(白)・ステンレス鋼管		
—CHR—	冷温水管(還)	配管用炭素鋼管(白)・ステンレス鋼管		
—CS—	冷水管(往)	配管用炭素鋼管(白)		
—CR—	冷水管(還)	配管用炭素鋼管(白)		
—S—	蒸気管(往)	配管用炭素鋼管(黒)		
—SR—	蒸気管(還)	圧力配管用炭素鋼管(黒)		
→HV	仕切弁	JIS10K		
→LV	逆止弁	JIS10K		
□	可とう継手	SUS製		
○	防振継手	ゴム製球形		
□	伸縮継手	ペローズ型 点検式、点検式		
○	自動エア抜弁装置			
○	給水栓			
○	混合水栓			
○	電磁弁装置			
○	減圧弁装置			
○	2方弁装置・3方弁装置			
○	安全弁			
○	蒸気トラップ装置			

製造者リスト(下記または同等品とする。)

資材名	製造者		
鋼管	日本工業規格及び日本水道協会規格品		
同上継手	同	上	
ステンレス鋼鋼管	同	上	
同上継手	同	上	
塩ビライニング鋼管	同	上	
同上継手	同	上	
ビニール管	同	上	
同上継手	同	上	
	1 TOTO	2 LIXIL	3
衛生器具	1 TOTO	2 LIXIL	3
水栓金具類	1 TOTO	2 LIXIL	3
弁類	日本工業規格及び日本水道協会規格品		
ガス給湯機	1 ノーリツ	2 リンナイ	3
樹脂樹	1 タキロン	2 セキスイ	3 アロン化成工業
排水金物	1 伊藤鉄工	2 長谷川鉄鉄	3 第一機材
送風機	1 テラル	2 荏原製作所	3
ポンプ	1 テラル	2 荏原製作所	3
空冷チラー	1 ダイキン工業	2 日立製作所	3
ボイラー	1 日本サーモエナー	2 三浦製作所	3
エアハンドリングユニット	1 昭和鉄工	2 暖冷工業	3 新晃
HEPAフィルター	1 日本バイリーン	2 日本無機繊維	3 日本スピンドル
換気扇	1 三菱電機	2 パナソニック	3
定風量・可変風量装置	1	2	3

特記事項

1. 更新する系統のエアハンドリングユニットは、機械室内の既設ダクト配管を撤去し、既設エアハンドリングユニットを解体・撤去して設置すること。

2. エアハンドリングユニット設置後、機械室内の配管・ダクト工事を行ない、既設配管・ダクトに接続すること。

3. 機械室内の冷温水配管は機械室が狭い為、65A以上は加工管を製作し、機械室内ではフランジ接合を中心として施工し、溶接接合はTIG溶接とすること。

4. 本工事は更新工事の為、機能上必要なものが生じた場合には、請負業者の費用負担により施工することになりますので事前に認識して対処すること。

一般共通事項

●一般共通事項

●空気調和設備

項目

特記事項

●機材等

(1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

(2) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。

(3) 化学物質を放散する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1) から5) を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放さないか、放散が極めて少ないものとする。

4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

5) 上記1) 、3) 及び4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを行い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量

該当する建築材料

規制対象外

①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗装等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗装使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗装等使用

第三種

①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFo規格品

○機材の品質・性能証明

設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関((社)公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。

図 尺 NON

設計年月日

工事名称 きぬ聖苑AHU-2エアハンドリングユニット更新工事

図面名称 仕様書

M-1

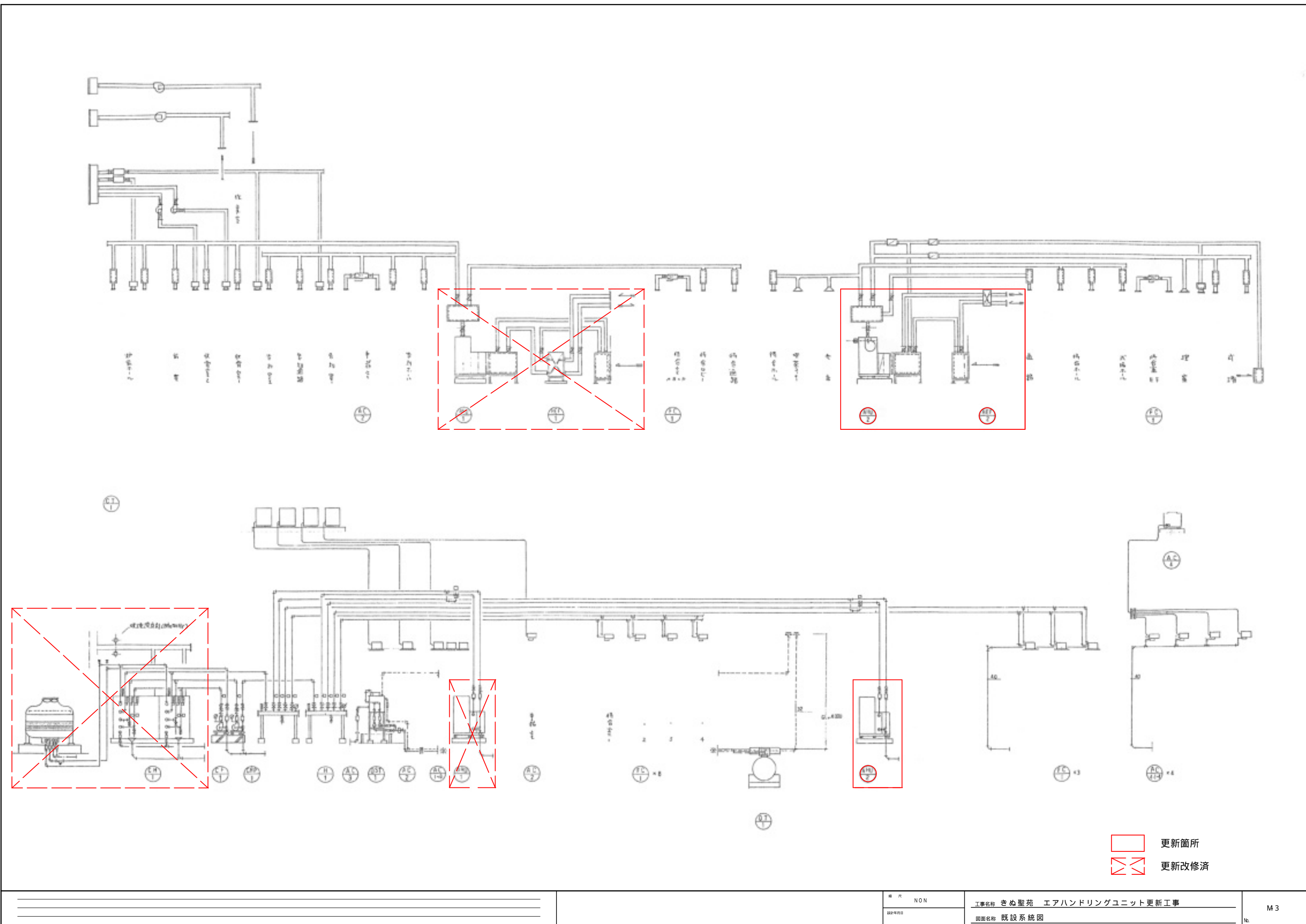
No.

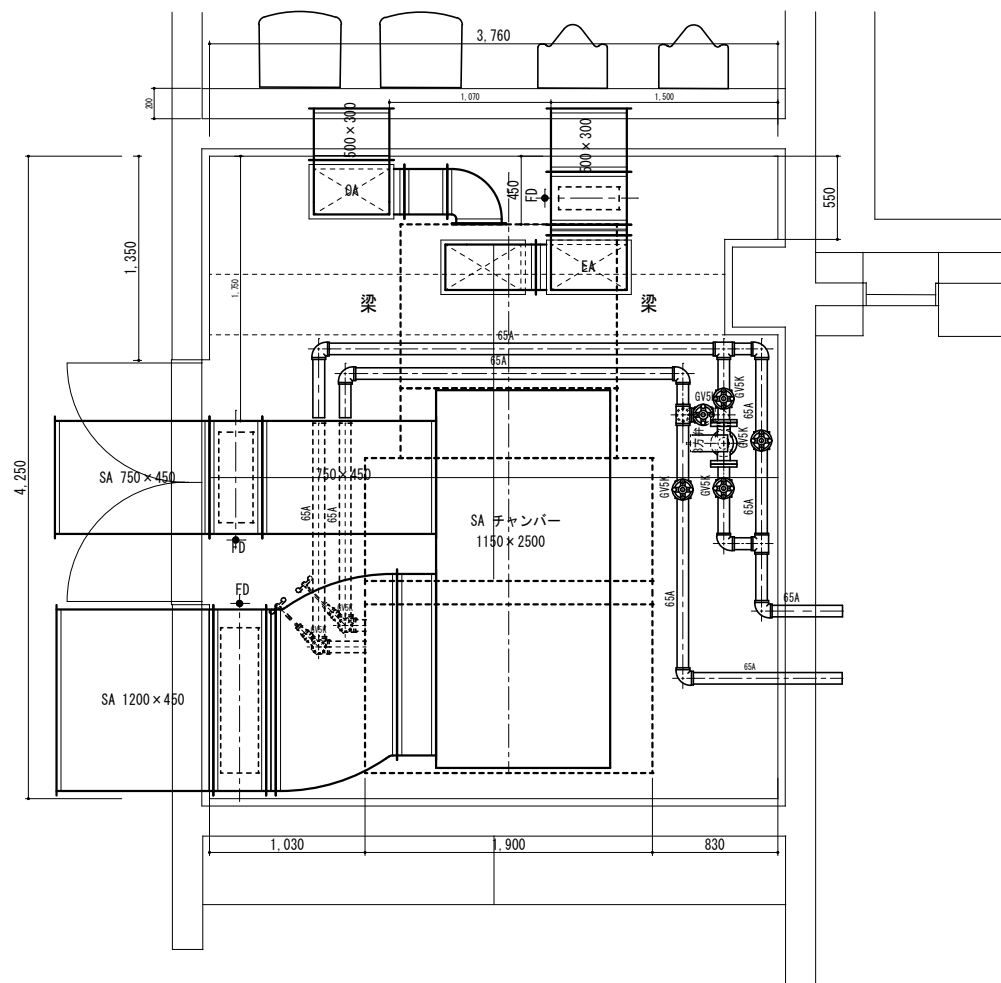
模 範 表

WILDE

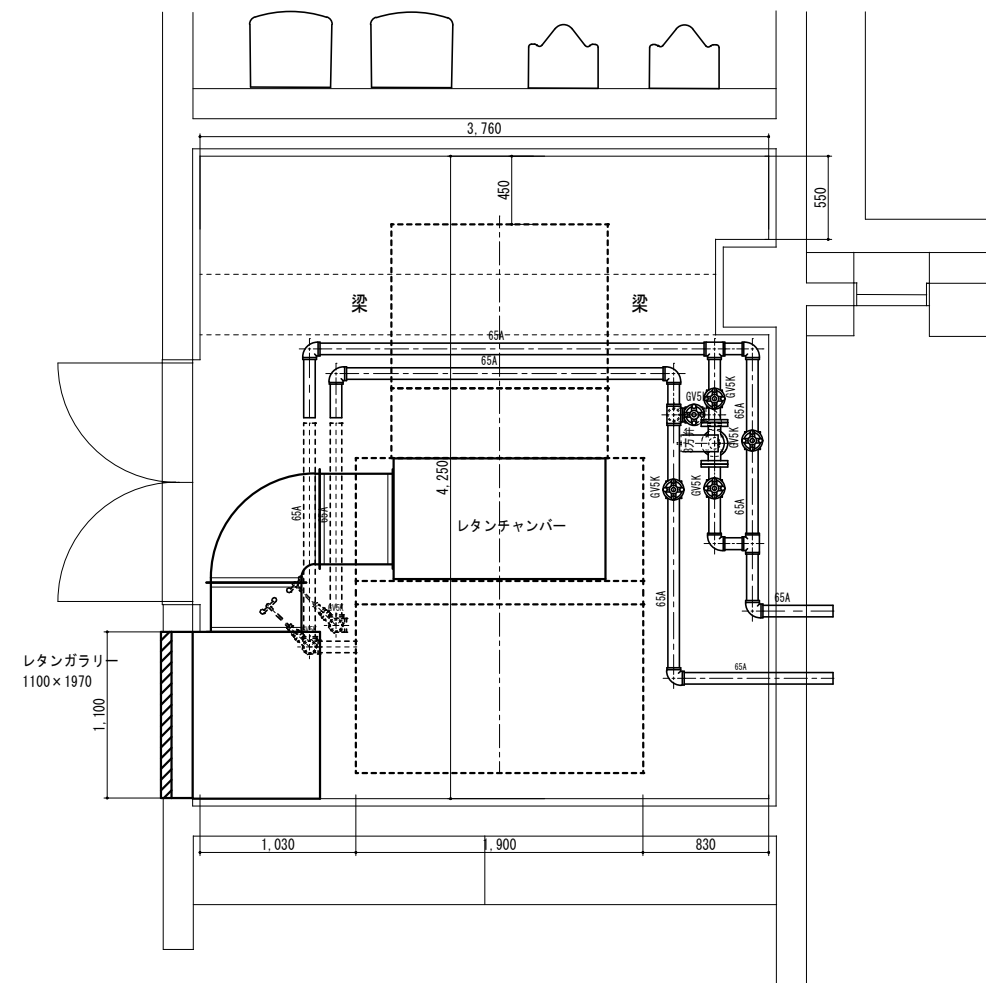
真偽難

- 更新箇所
- 更新改修済





湯沸室



湯沸室

更新機器表

記 号	名 称	仕 様	電動機容量	電源	設置場所	数 量	備 考
AHU-2	エアハンドリングユニット	風量：22,000m3/h 冷却能力：152.3kw 加熱能力：270.9kw 冷温水コイル水量：417.0L/min	11.0kw	3相200V	空調機械室	1	形式 CH-230EK
	加湿器	気化式加湿器（MFA7） 加湿量 34.0kg/h 配管口径 15A		単相100V	エアハンドリング ユニット内組込	1	形式 MFA7-40

注 記

1. ミキシングボックスの構造は概略図として下さい。

2. コイルの運転圧力は、7.8MPa以下で設置して下さい。

3. コイルの運転圧力は、7.8MPa以下で設置して下さい。

4. 基礎式は、M12は必要に応じて設置して下さい。

5. 水配管は、水漏れ、空気を抜く穴を留めてください。運転監視に施工して下さい。

6. 機外に送風機を設置される場合は、構造がかわりますので、ご相談ください。

7. 設置場所は、乾燥、多湿、多湿、多湿の運転は避けて下さい。

8. 24時間運転の場合、気化式加湿器の運転シーケンスは、乾燥のみの運転シーケンスを1時間以上/日運転させてください。

9. 送風機運転のシーケンスは、下記を参考に設置します。

10. コイルユニット下部は、コーキング作業員の手作業にコーキングを行ってください。

11. フィルタは、運転中に設置して下さい。

① 送風機入口管 (JIS 100mm 標準フランジ)

② 送風機出口管 (JIS 100mm 標準フランジ)

③ ドレン排水口 (SUS・銅製)

④ 送風機排水口 (SUS・銅製)

⑤ 送風機排水配管 (リード線・1m径)

⑥ 2-ポート加湿器の標準

⑦ 水配管

⑧ 2-ポート加湿器の標準

⑨ スタローラジエーター

⑩ 送風機

⑪ 送風機フランジ (140x40x3)

⑫ 送風機フランジ (140x40x3)

⑬ フィルタ

仕 様 表

系 統 (AHU-2)

形 式 CH-230EK

種 類 シロコファン

サイズ: 個数 3.50V x 1

風 量 22000 m³/h

OA風量 6600 m³/h

静 圧 全 9.32 Pa 機 662 Pa

制御方式 スタローラジエーター (手動)

電動機容量 3 相 200 V 50 Hz 4P

11 kW x 1 (全機容量・B3)

コイルサイズ 1 x 8.38 WP 1550 SF g

冷却能力 152.30 kW

入口空気条件 DB 28.4 °C WB 21.4 °C

RH 54.1 % 送風機 2.7 m/s

水 温 入口 7.0 °C 出口 12.0 °C

水 量 437.0 l/min 送水圧 28.0 kPa

加熱能力 270.90 kW

入口空気条件 DB 15.2 °C WB 9.7 °C

RH 48.8 % 送風機 2.7 m/s

水 温 入口 60.0 °C 出口 51.1 °C

水 量 437.0 l/min 送水圧 28.0 kPa

配管口径 入口 80 A x 1 出口 80 A x 1

種 類 気化式加湿器 (MFA7)

形 式: 個数 (MFA7-40 x 1)

加 湿 量 35.7 kg/h

圧 力 0.05~0.7 MPa

配管口径 15 A x 1 電源 1 相 200 V

種 類 空気フィルター (標準)

型 式 PS-400

効 率 標準 75 %

サイズ: 個数 800W x 600H x 3

500W x 600H x 3

300W x 600H x 1

300W x 600H x 1

防振装置 スプリング

機 体 重量 500kg (標準)

送 風 機 重量 30 t

ドレンパン 口径 40 A x 1 材質 SUS304

塗 装 色 フィルタボックス: シルバリアム鋼板塗装

160 614 231

1380

222

505

46

249

配管位置図

3364 (標準フランジ)

80 700 304 950 380 716 222

1860

1960 (標準フランジ)

※サイズ: 1100x50x5

※標準フランジ: 12-φ16x35670

天板開口: 120

天板開口: 140

天板開口: 250

天板開口: 120

天板開口: 160

天板開口: 300

※重量 [kg] コイル標準重量 123kg

※重量 [kg] 送風機、送風機、送風機、送風機、送風機、送風機

(特記)

・輸入数量: 1500Wx1850Hx1500D

日 付 2024年04月18日

図面名称 (室内設置型)

新設エアハンドリングユニット

仕 様 令和4年度公共施設工事競争入札に準ずる

台 数 1 台

管理No. V21C345-A5-00044

図面No. JUA-129282-05

承認 照 査 検 査 作 成

昭和鉄工株式会社

図面No. JUA-129282-05

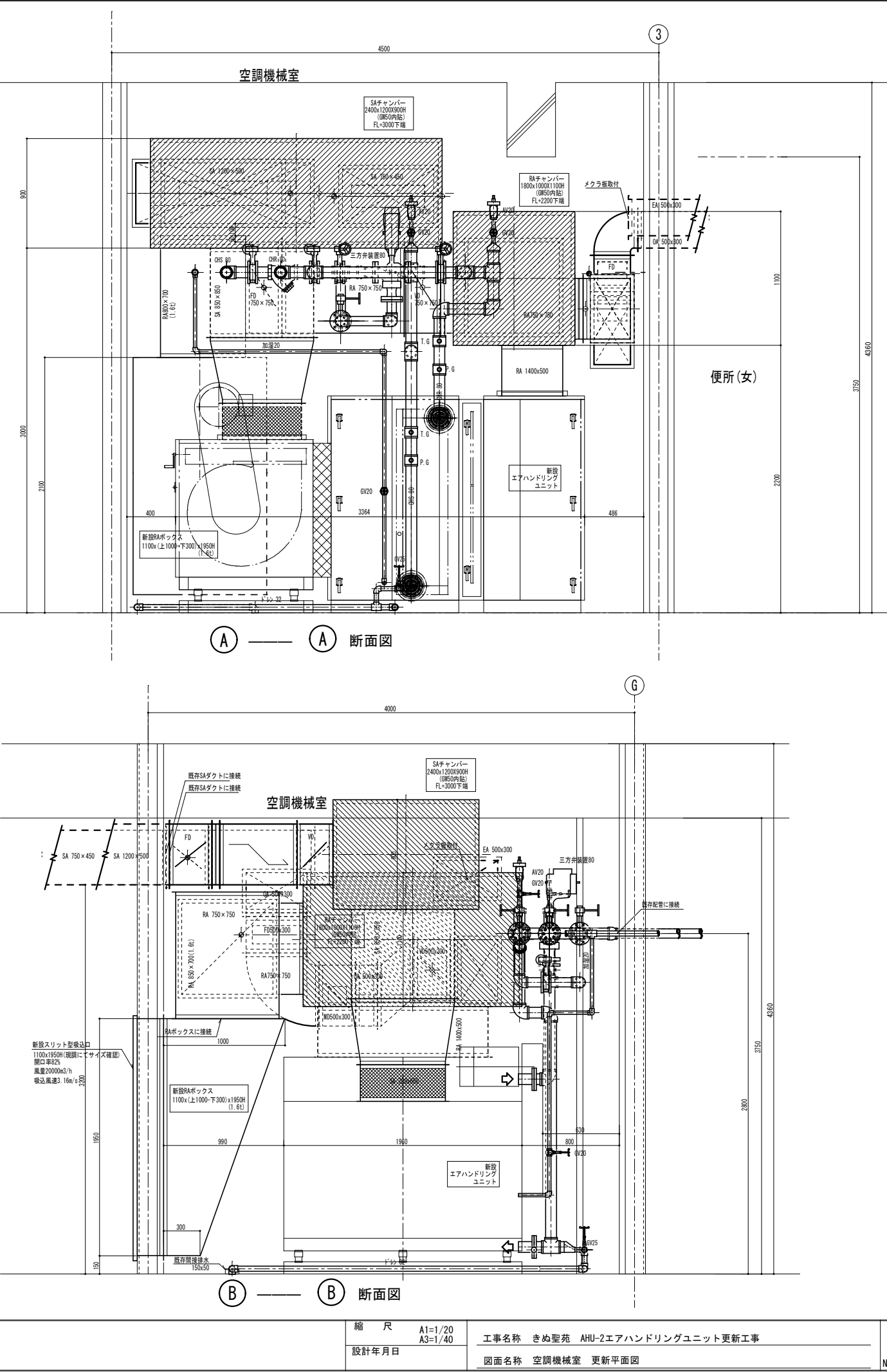
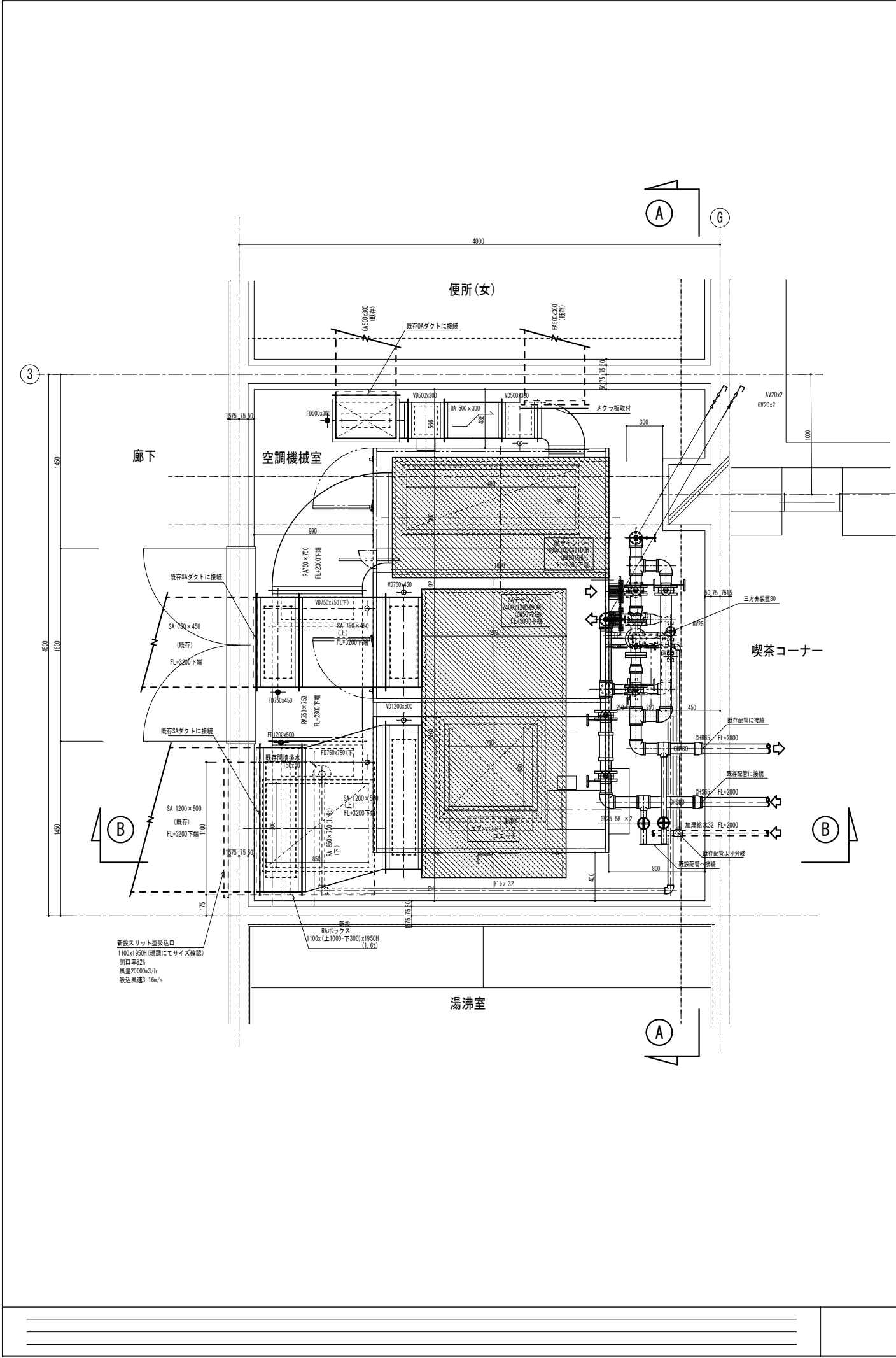
F4C4

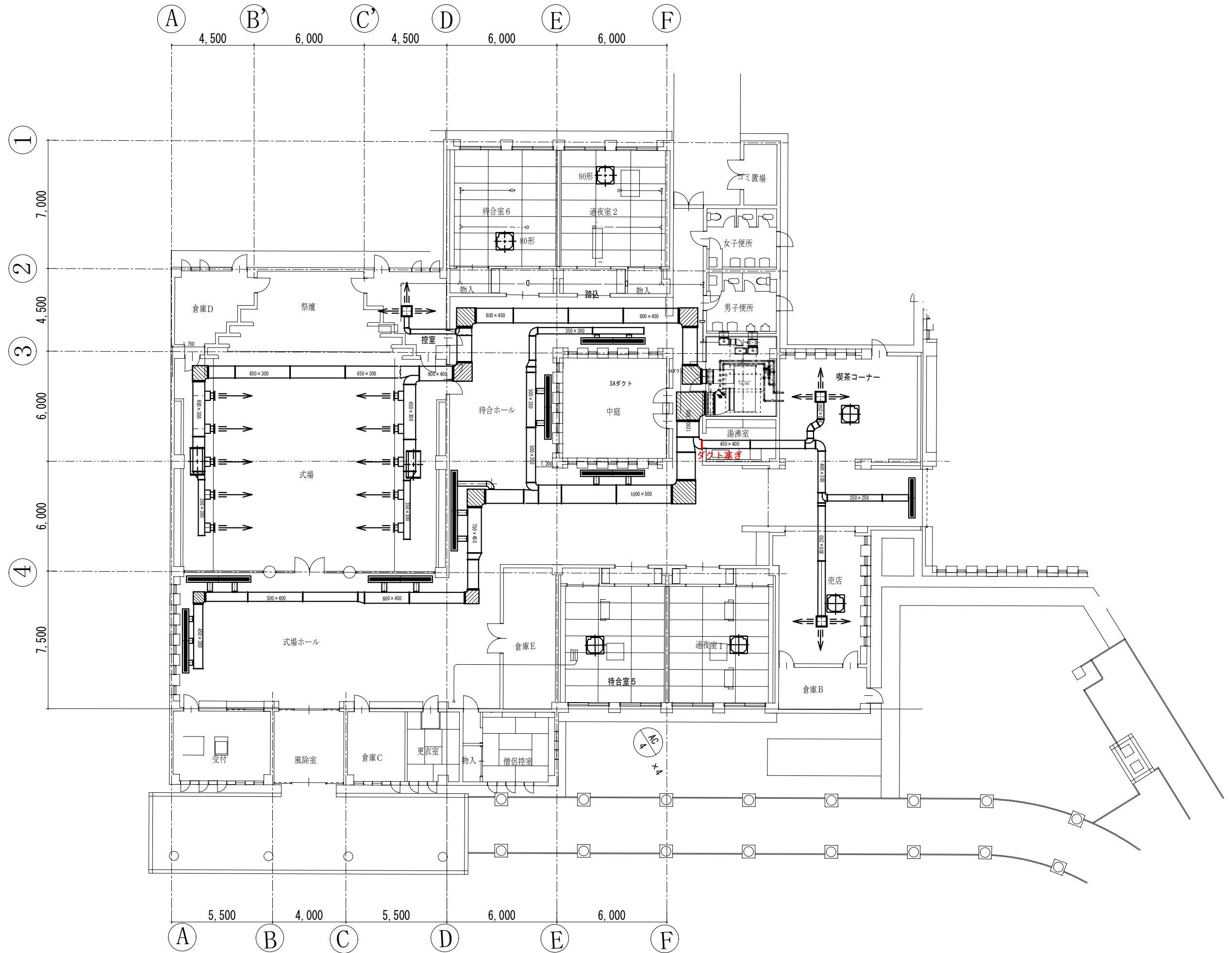
図 名 NON

工事名称 きぬ聖苑 AHU-2エアハンドリングユニット更新工事

図面名称 更新エアハンドリングユニット仕様書

M-7

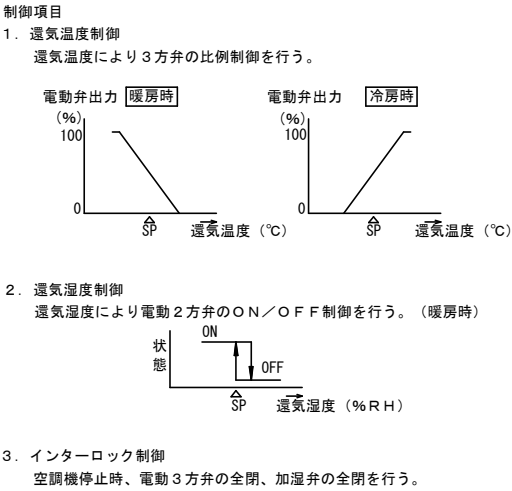
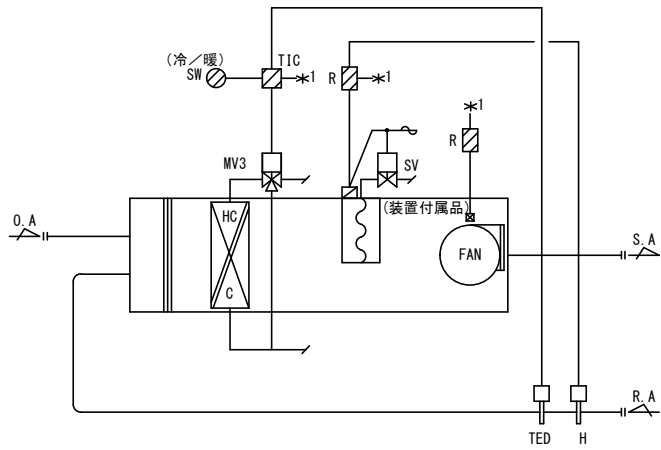
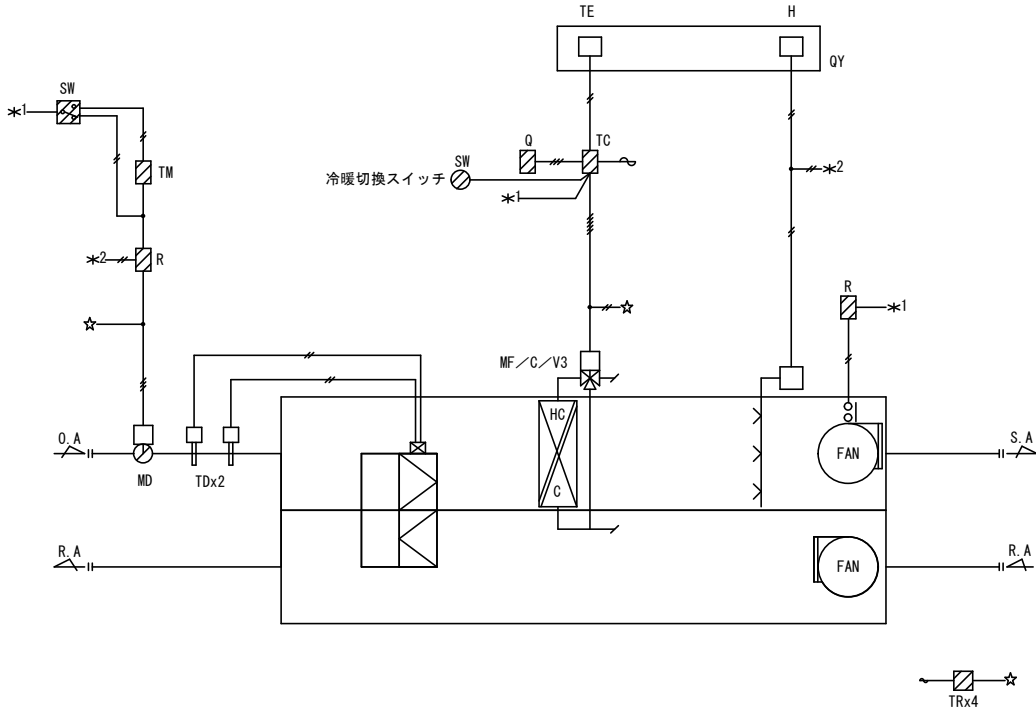






AHU-2

AHU-2



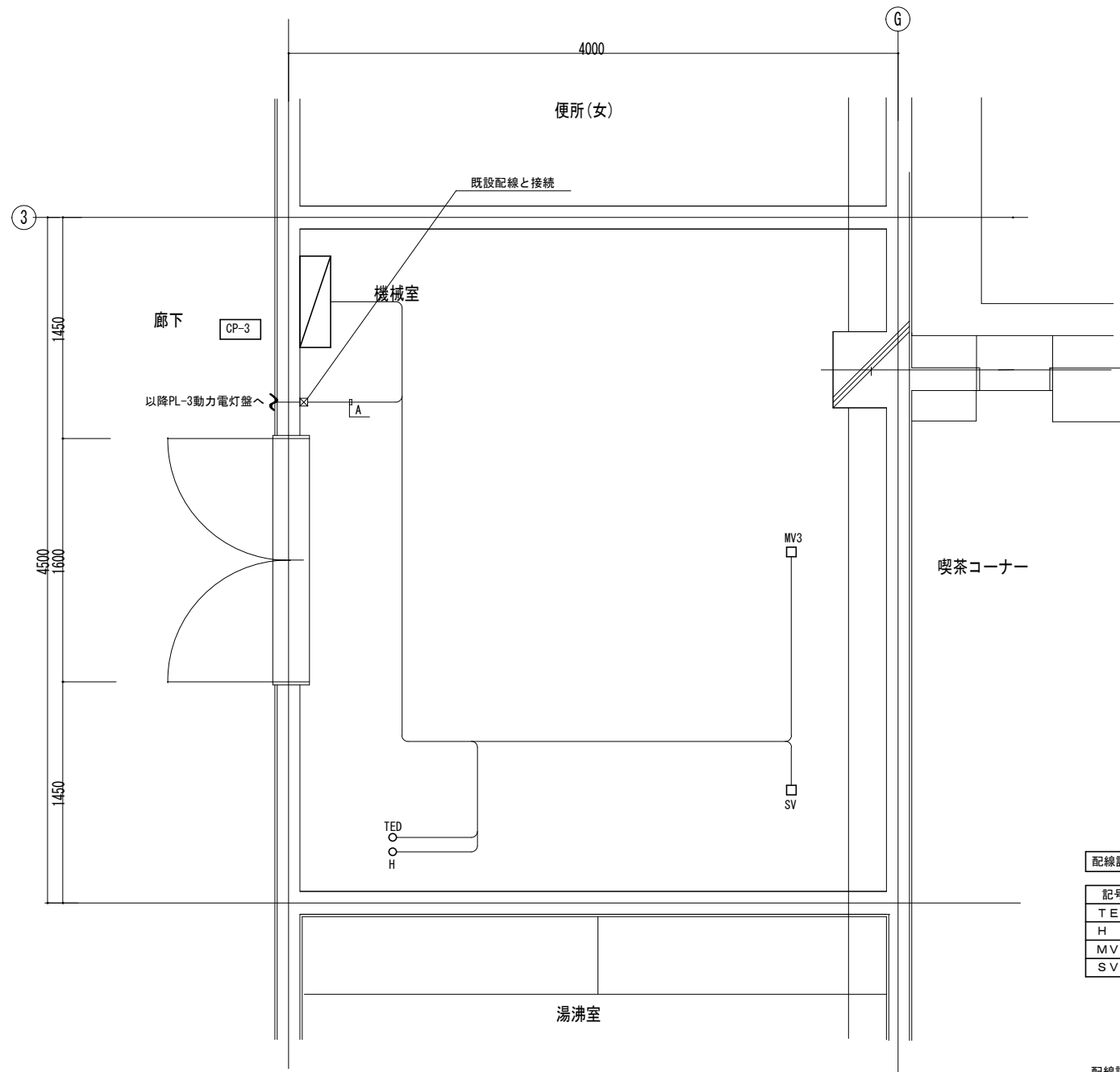
2. 自動制御機器表・バルブ口径表・盤寸法表

自動制御機器表			
記号	名称	形番	備考
TED	温度検出器	TY7803Z	
H	湿度調節器	HYY-DIS	
TIC	温度指示調節器	R36	
MV3	電動3方弁	MY3000F/V5065A	
SV	加湿弁		装置付属品
SW	切換スイッチ		
R	補助リレー		

バルブ口径表							
				流体 W2：水（2方弁）、W3：水（3方弁）			
				単位 流体W2、W3：流量 [l/m]、ΔP [kPa]			
系統名	流体	流量	Pi	ΔP	CV	口径(A)	備考
冷温水弁	W3	417.0		30.0	52.8	65	
加湿弁						15	付属品

盤寸法表					
盤名	形状	参考寸法			収納系統名
		W	H	D	
CP-3	壁掛	700	500	250	1. システムエアハンドリングユニット制御 (新設) 1SET

図示範囲の撤去を行う。



配線詳細

記号	配 線	配 管	備 考
TED	EM-C EE 1. 25□-3C	E19	
H	EM-C EE 1. 25□-2C	E19	
MV3	EM-C EE 1. 25□-6C	E25	
SV	EM-C EE 1. 25□-2C	E19	

配線詳細

- A -	
EM-C EE 1. 25□-2C	(E19) CP-3~P-3

縮 尺

A1=1/20
A3=1/40

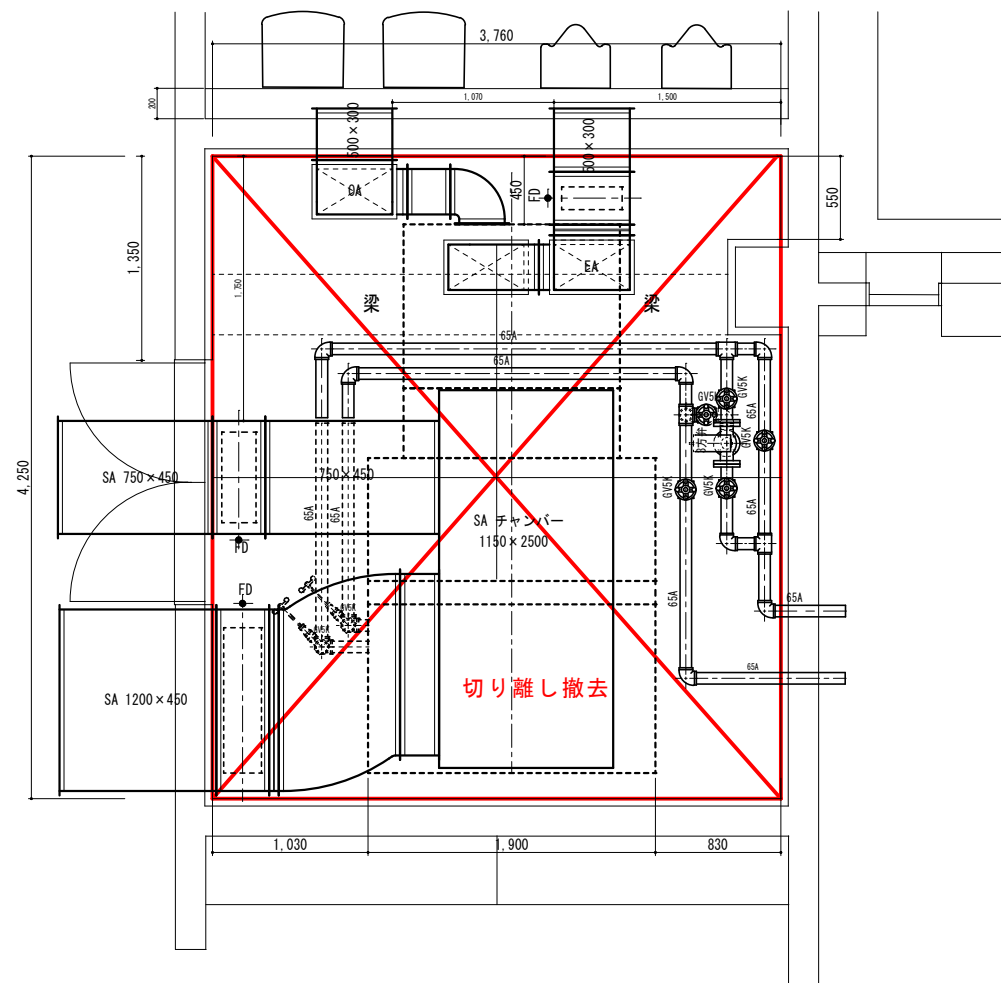
設計年月日

工事名称

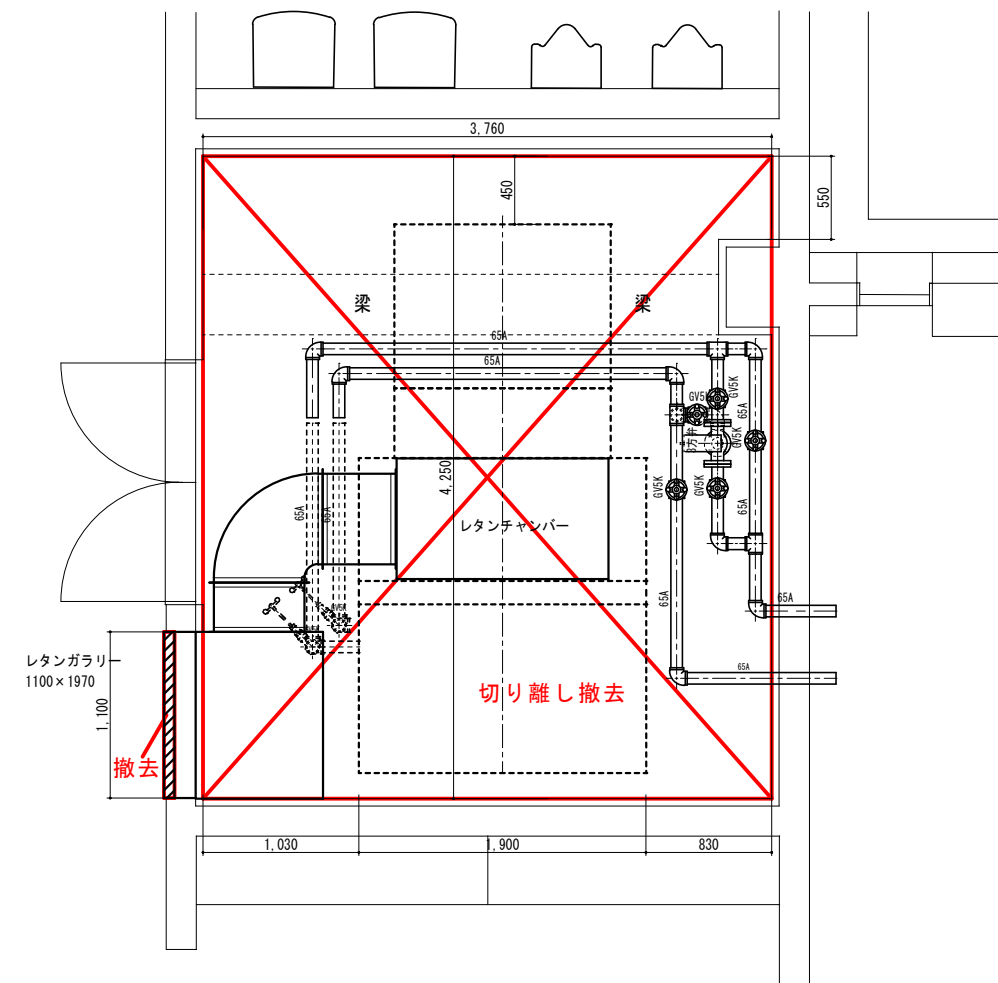
きぬ聖苑 AHU-2エアハンドリングユニット更新工事

図面名称

自動制御設備平面図

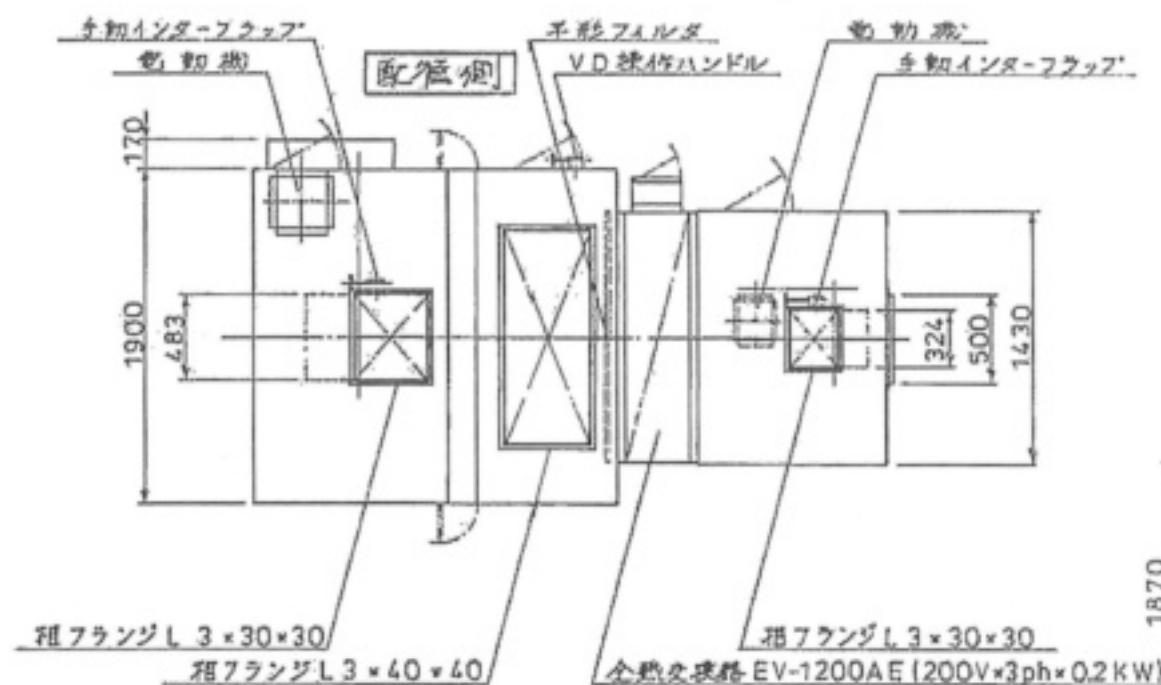


湯沸室



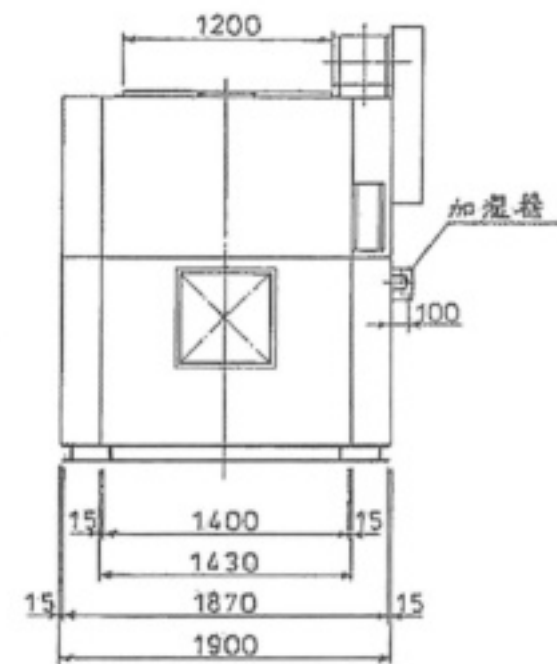
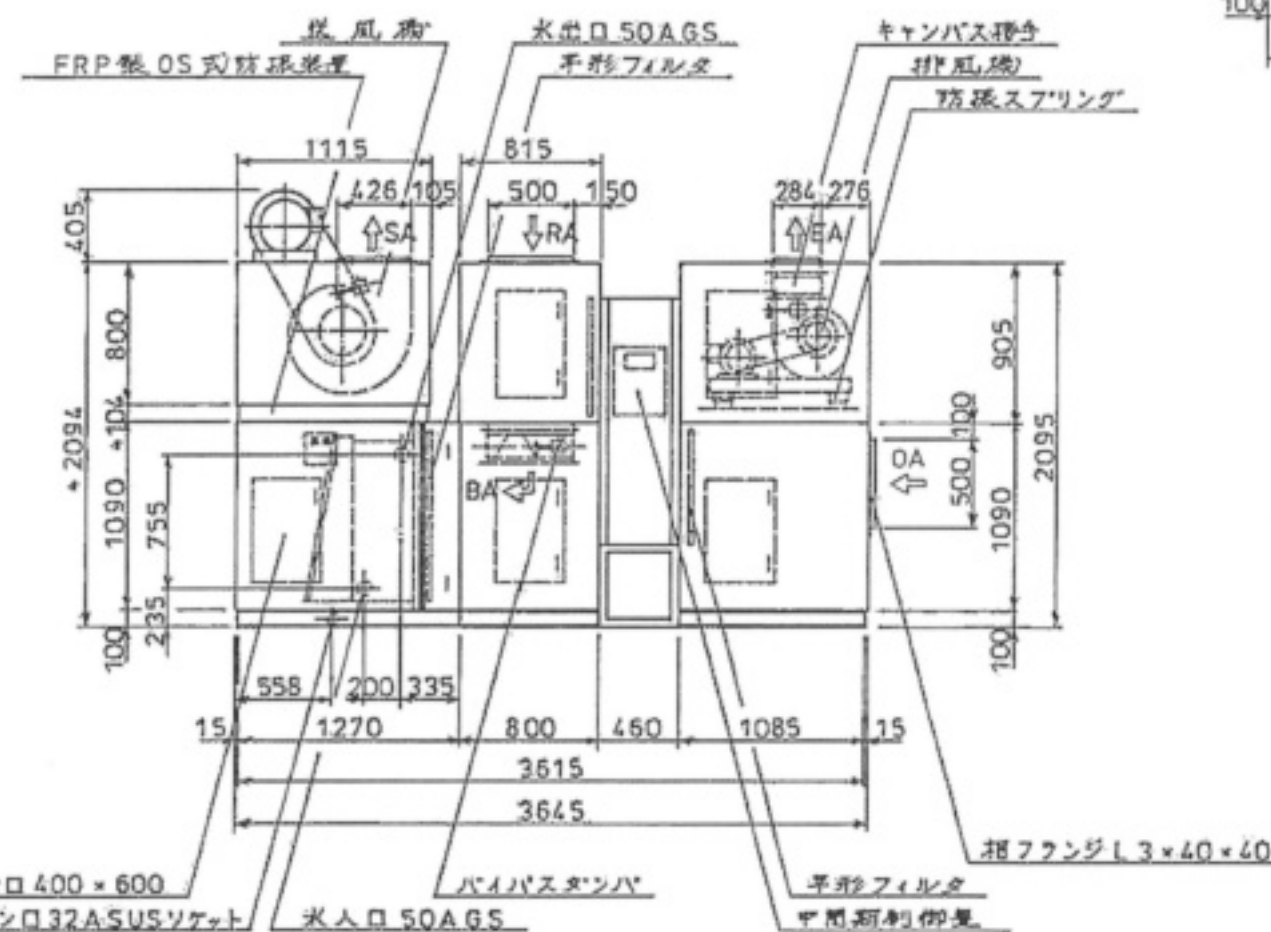
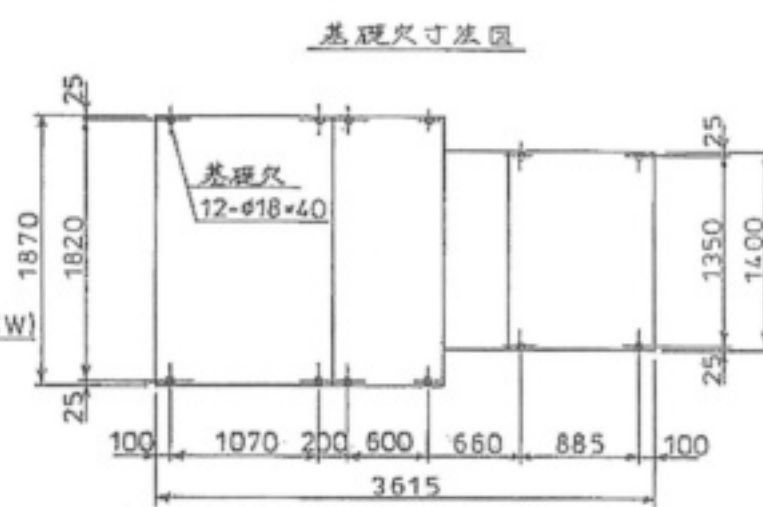
湯沸室

撤去範囲



分割重量 kg

420	120	270
480	200	160



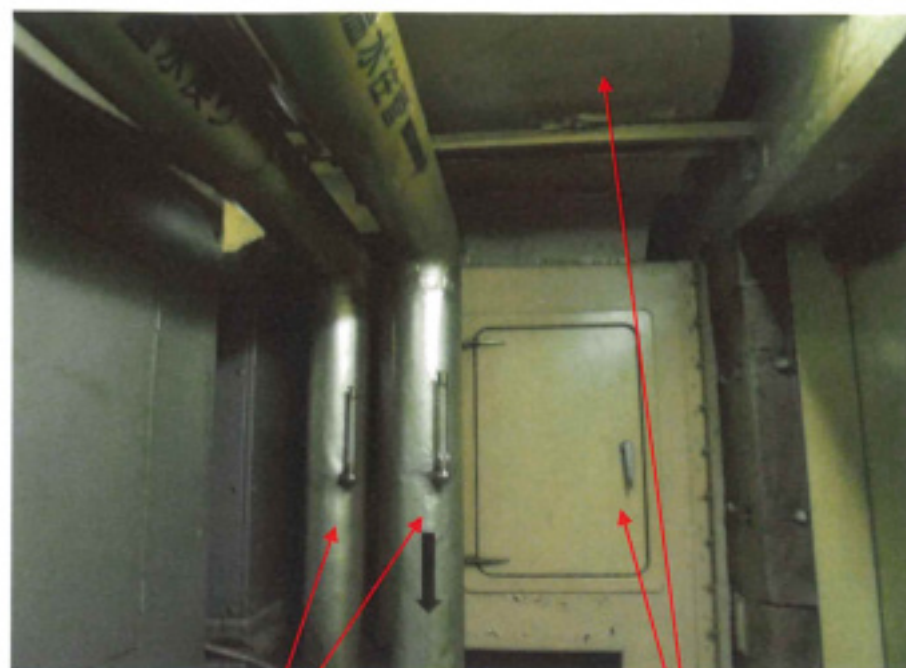
SA	RA	OA	EA	BA
12420	12420	3720	3720	8700

機 器 仕 様	
設計図書番号	AHU-2
系 統	全熱交換器組込形
機 種 形 式	給 気 側
風量CMH(CMM)	12420 (207)
全 静 圧mmAq	(72)
機外静圧mmAq	20
送風機形式番号	DF 2 1/2 DS
電 動 機	形 式 防滴保護形
規 格	7.5Kv200V3φ4 P50Hz
台 数	1
コ イ ル	種 別 冷凍機
正 面 面 積 m ²	1.354 F.P.3.5 mm
規 格	6 R 22 T1620ELX 1
排 気 側	
風量CMH(CMM)	3720 (62)
全 静 圧mmAq	(48)
機外静圧mmAq	20
送風機形式番号	DF 1 3/5 DSN
電 動 機	形 式 全密外扇形
規 格	1.5Kv200V3φ4 P50Hz
台 数	1
加 湿 器	種 別 WM-SVK50
加 湿 量Kg/h	50 (電 熱)
電 源	200V×1ph×120W
冷房能力Kcal/h	73 500
暖房能力Kcal/h	130 500
エアフィルタ	フィルドン PS-400
エリミネータ	鋼板製 t30
塗 装 色	DR-310
製 作 台 数	1
主 要 部 材 仕 様	
ドレンパン	SUS304 t1.5
外 板	SECC t1.2
骨 格	Lt 4×50×50
梁 台	Ct 5×50×100
断 熱 材	GLASS t20×40K
図 面 名 称	
エアハンドリングユニット 外形寸法図	
形式番号	DVU-200E
仕 様	
図面番号	
尺 寸	1/40 第3角法 作成 92.11.26
① 暖冷工業株式会社	
照 査	無 査 設計 作成 小 提出
整理番号	

改定変更 3/30 SVK50及エリミネータ 現地取付

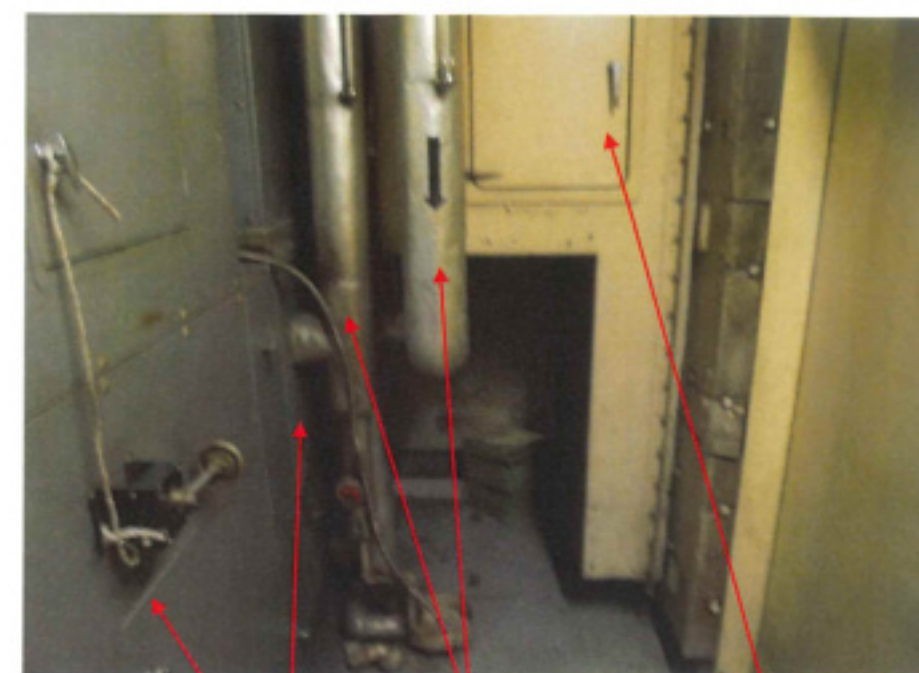


ガラリ撤去
新規スリット型吸込口SL-H取付



配管撤去

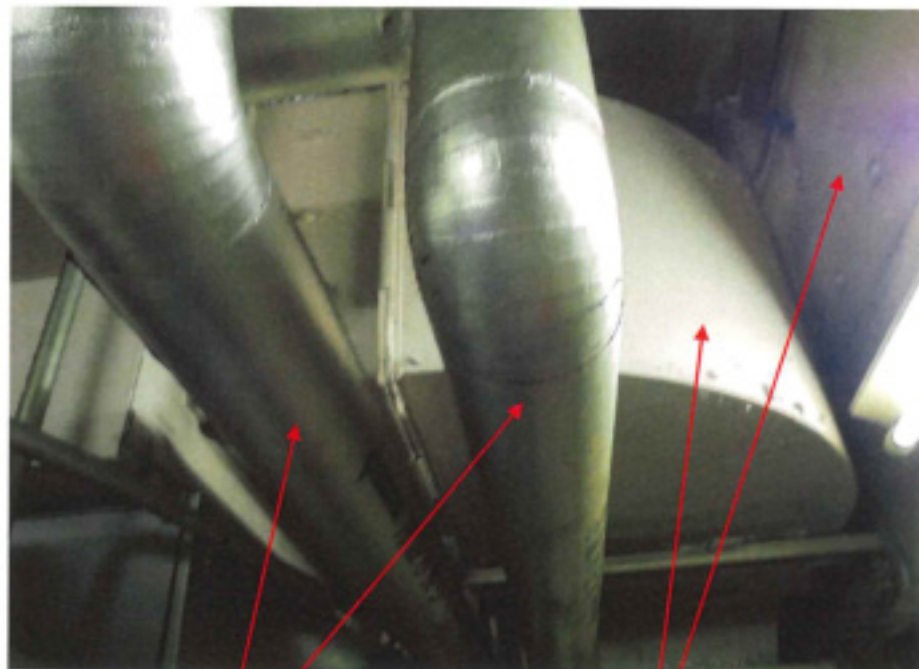
ダクト・ボックス撤去



配管撤去

エアハンドリングユニット撤去

ダクトボックス撤去



配管撤去

ダクト撤去



ダクト・ダンパ撤去

エアハンドリングユニット
(全熱交換器接続) 撤去

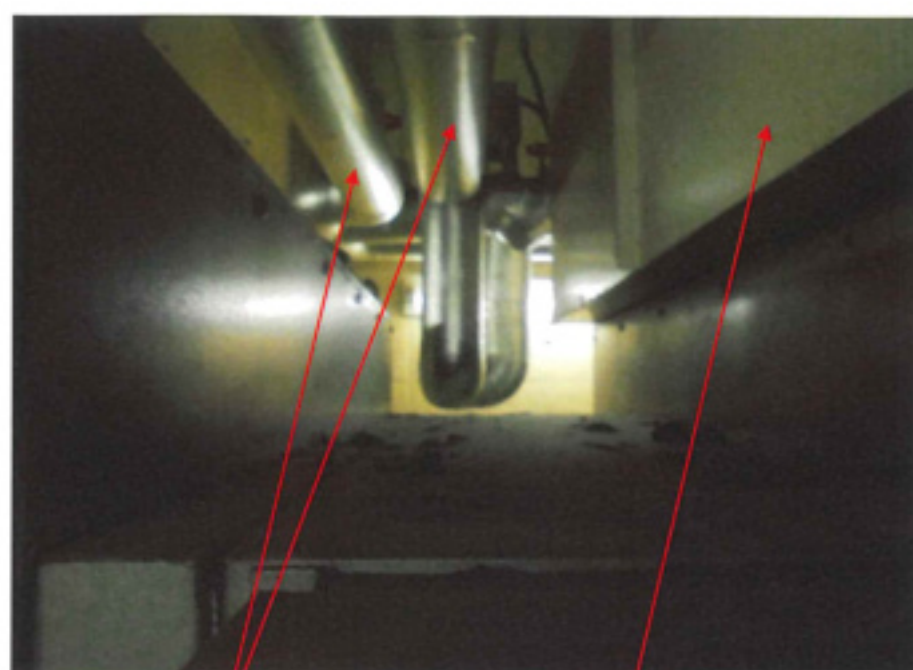


ダクト撤去



配管撤去

ダクト・チャンバー撤去



配管撤去

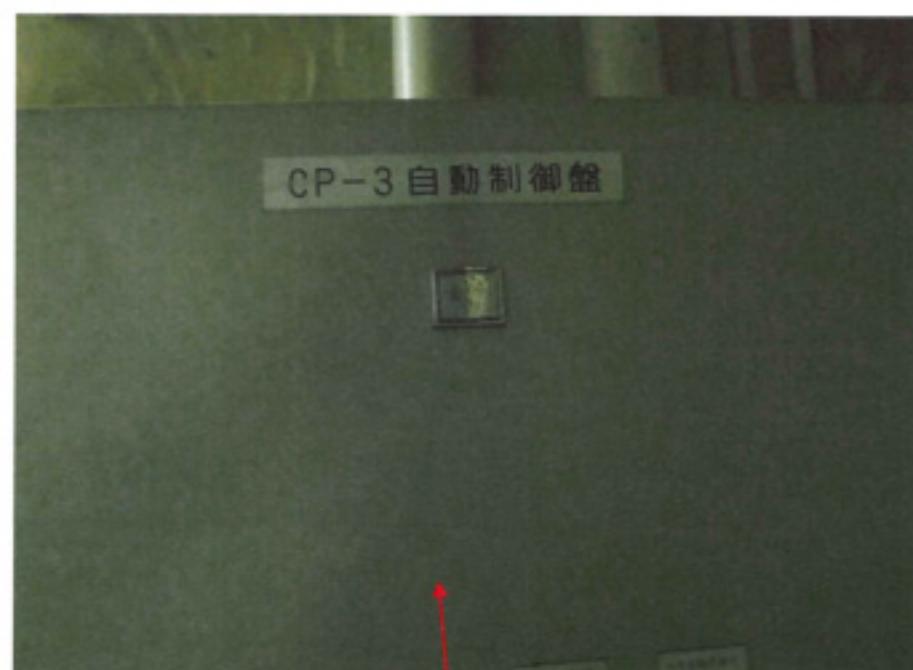
ダクト撤去



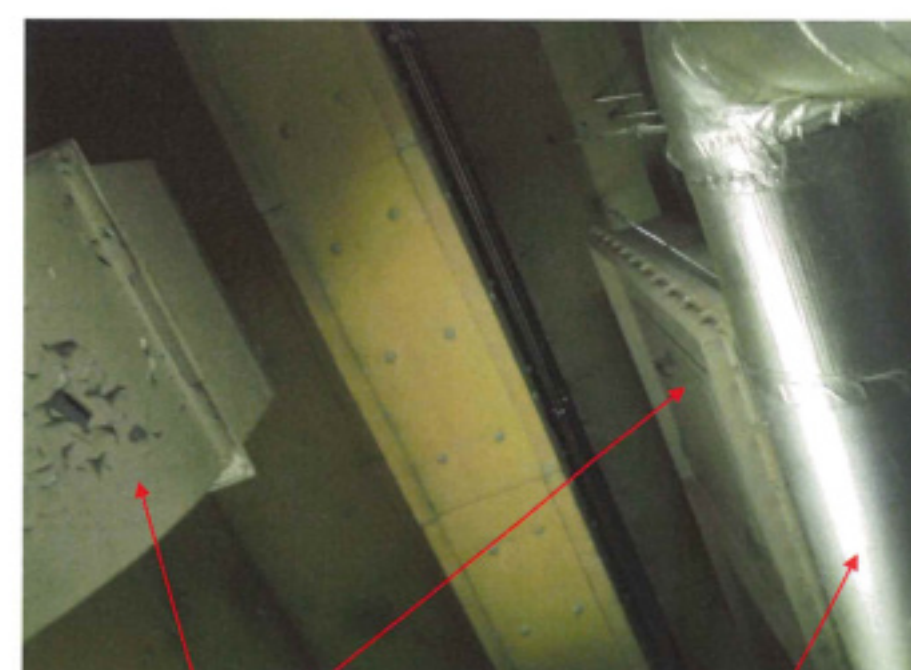
ダクト撤去



エアハンドリングユニット
(全熱交換器接続) 撤去



自動制御盤撤去



ダクト撤去

配管撤去